

県労連 あおもり

2016年3月5日 第306号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

安倍内閣退陣こそ 景気回復の道 16春闘勝利 決起集会

2月20日、青森県春闘共闘会議は、あおもり福祉プラザで「16春闘勝利決起集会」を開催、県内各地から60名が参加しました。

奥村春闘共闘会議議長が主催者を代表してあいさつ、自公政権の法人税減税・研究開発減税など大企業を優遇する一方、消費税増税、年金・医療などの社会保障改悪による労働者・国民いじめの実態を告発しました。

伊藤圭一全労連雇用・労働法制局長が講演、労働法制改悪の内容を詳しく解説

しました。伊藤局長は、労働法制改悪の内容は、①労働者派遣法の改悪②労働基準法・労働時間法制の改悪③解雇自由化法制の導入④人材ビジネスによる雇用安定行政の変質・解体⑤外国人労働者導入による労働力不足解消・コスト削減⑥高齢者・女性などの労働力化促進、であると指摘しました。

榎山事務局長が、①月額2万円・時間額150円以上の賃上げ②最低生計費調査の実施③最賃引き上げを求める座り込み④労働法制

改悪阻止⑤消費税増税阻止、TPP大筋合意撤回、社会保障改悪反対、原発・

改悪阻止⑤消費税増税阻止、TPP大筋合意撤回、社会保障改悪反対、原発・

核燃からの撤退、などの当面する行動を提起しました。



木村春闘共闘会議副議長の音頭で団結ガンバロウ

医療連から賃上げ闘争、自治労連から最低生計費調査の取組み、年金者組合から年金裁判闘争についての決意表明があり、最後に国民春闘アピールを採択して終了しました。

アベノミクスは 地方を疲弊



県経営者協会への申し入れ

2月19日、16春闘の取組みとして経営者団体への要請と懇談を行いました。青

森県労連からは、奥村議長、今副議長、柳谷副議長、榎山事務局長の4人で訪問し、

森県経営者協会では、小笠原専務理事が対応しました。最初に奥村議長から春闘資料に基づいて、①大企業の内部留保が急増し、②労働者の平均賃金は、97年との比較で52万円もの減少、③正規労働者から非正規労働者への転換が進み、労働者の4割に、④非正規労働者のうち年収200万円以下のワーキングプアが113.9万人に、⑤先進諸国では着実に賃金が上昇しているが日本だけは低迷、⑥生計費原則に基づいた大幅賃上げが求められている等の説明を行いました。経営者協会の小笠原専務理事は、「日銀の基調判断では、持ち直している」としているが、県内は99.9%が中小企業であり、景気回復の実感はない「企業アンケートでは、地方・

調査の骨抜き、遣伝子組み換え食品の輸入拡大と表示の是正などを要求され、ことごとく応じ、残留農薬基準の緩和まで行った。TPPは農業だけでなく、食の安全・安心、医療、労働者の働き方、国家主権、国民民主権を根こそぎ破壊する協定で、批准阻止のたたかいが重要になる。(今)

昨年10月、国会決議を無視してTPP交渉の「大筋合意」を発表し、安倍首相は「国益を守った」とウソをついた。関税品目でみた場合、日本の農林水産品の関税品目2328のうち、関税を撤廃するのは1885品目(81%)。このうち1195品目で即時撤廃(51.3%)。関税撤廃の例外は443品目(19%)。ただし、税率を完全に維持したものは156品目(6.7%)に過ぎない。TPPは関税撤廃が原則で7年後には再協議が待っている。重要5項目(コメ、

小麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物)についても無傷のものはなく、関税品目586のうち174品目(30%)で関税を撤廃した。重要品目以外では98%の関税を撤廃。コメ余りの中で米国と豪州から7.8万トンの主食用米の輸入枠を拡大。これまで日本政府は米国から使用農薬や食品添加物の拡大、検



TPP 大筋合意撤回の署名活動

中小企業への支援の強化を求める声が寄せられている。「本県は非正規率では全国より高いので、非正規から正規への転換を求めている」とし、課題として①人口減少に伴う人材不足、②女性、高齢者の待遇改善、③長時間労働の解消、④安心、安全な働き方が必要としており、私たちの要求に対する理解を示しました。中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業家同友会にも訪問しました。(奥)

「運動」と「学習」の不可分性。我々には金も権力もない、あるのは理論的確信に基づく、団結・連帯だけである。反国民的政策を続ける安倍政権への根源的闘いとして、その命もいえる理論的確信を築く「学習」が、労働運動に根ざしているだろうか？労働環境の厳しさが日々運動と学習を萎えさせている。しかし、座して死を待つことはできない。もう一度、「学習」の原点に立ち戻る必要性を、畑田氏に改めて感じさせられている。(奥)

TPP大筋合意 の撤回を！

国際政治学者の畑田重夫氏が、「全国生活と健康を守る会」の機関誌(2月28日)に、学習活動の重要性について次のように書かれていた。「新聞・テレビだけでは本当のことは分らない。正しい理論と政策がやがて世論となり、世論と運動が情勢を変える。私たちは自分自身で学ぼう。学習こそが行動のエネルギーの源泉だ。」

この「学習」の重要性についての提起は、労働運動にとって運動のあり方の根本を指摘している。「運動」と「学習」との関係、それは「運動」を通じて正しい理論と政策が生まれ、正しい理論と政策が「運動」によって世論となり情勢を変えていく、そしてその「運動」は「学習」によって生み出され、再生産されていく。

「運動」と「学習」の不可分性。我々には金も権力もない、あるのは理論的確信に基づく、団結・連帯だけである。反国民的政策を続ける安倍政権への根源的闘いとして、その命もいえる理論的確信を築く「学習」が、労働運動に根ざしているだろうか？労働環境の厳しさが日々運動と学習を萎えさせている。しかし、座して死を待つことはできない。もう一度、「学習」の原点に立ち戻る必要性を、畑田氏に改めて感じさせられている。(奥)

二〇〇〇万署名を職場・地域から、野党共闘実現

戦争法が強行成立してから5カ月が経過しましたが、戦争法廃止、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、民主主義・立憲主義守れの運動が全国各地で展開されています。全国統一の「2000万署名」は職場・地域で5月3日を目標に精力的に展開されています。

2月19日、民主党・共産党・維新の党・社民党・生活の党の党首会談で選挙協力の「野党共闘」が成立しました。その合意内容は、①安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定

撤回を共通の目標とする②安倍政権の打倒めざす③国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む

④国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う、の4項目です。この合意によ



野党も発言した憲法フォーラム

って熊本県に続いて、衆院北海道5区補選でも統一候補が擁立されました。2月13日、県9条の会などによる「憲法フォーラム」が開催され、民主党・共産党・社民党の代表による野党共闘にかかわる発言がありました。

全労連共済加入で第二の賃上げを!

アベノミクスによって大企業は空前の大儲けをする一方、労働者・国民の貧困と格差は拡大しています。安倍政権の3年間で直接税5%増、社会保険料6・9%増などによって実質賃金は4・8%も減少しています。また、年金財源を株式投資に回し、約8兆円も損失する一方、特例水準の解消と称して年金を2・5%も減額、さらにマクロ経済スライドを発動、際限のない切り下げを強行しています。

16国民春闘がたたかわれ、賃上げと最賃の大幅引き上げが最大の焦点になっています。賃金の削減、社会保障の連続改悪のもとで全労連共済が見直されつつあります。全労連共済青森支部は、14年度から自動車共済拡大の重点県に指定され(全国で14道県指定)、この1年余で27台から57台に増やすことができました。人によっては年間6万円も



共済拡大で意思統一した全国交流会

お知らせ

●16年憲法ネット総会
とき 3月13日(日)13時
ところ 福祉プラザ
内容 ①講演(奥村代表委員)②活動の報告と方針③各組織からの報告④

役員選出
●労働法制改悪反対青森県連絡会第3回総会
とき 4月16日(土)13時
ところ アピオあおもり
内容 ①講演(全労連に講師要請中)②活動の総括と方針③役員選出

憲法共同センター(全労連加盟)のまとめによれば、2000万署名は308万筆が集約されています。

掛金が安くなった人もお喜びです。今年の6月から代理所になり、本格的な取り組みが展開されることになっています。

火災共済も他の民間会社と比較すると同じ給付内容で掛金が格段に安くなっています(建物2100万円・家財1500万円の保障の場合、掛金が年間5万3000円安い)。



民間の自動車任意保険を全労連共済にチェンジしました。車両保険等を入

〈ろうきん〉のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!
実質 **0円**
東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

第304回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近

の出来事などを、およそください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

締切 4月15日
発表 5月号
宛先 030-0852
青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄



まちがいは7つ



「第304回まちがいがし」係りまで。第302回の答えと当選者
《答え》①右の猿の髪飾り②カゴの中のみかん③読み札④猿のとった札⑤破魔矢⑥左奥の座布団⑦
《当選者》15通の応募でした。当選者は次の方々です。原芳雄(年金者組合)、成田夏彦(年金者組合)、大平利成(年金者組合)、中村龍平(建交労)、山内順子(ひだまり)

ても2万円も安くなりました。まあビックリポイント。(中村龍平・建交労)
今年は何冬のせいかな? インフルエンザが例年より少ない気がすると思ったら、今日は朝から大雪!流行に備えてまだまだ油断できないですね。(山内順子・ひだまり)

12月の雪は少なくどうなるかとおもったけれど、小学校最後のスキー学習は1月中旬に終わらせ、2月1日にはモヤスキー場に行き終了予定。授業も順調だし、卒業までにあとわずか(三浦しのぶ・ひだまり)
また甘利大臣が辞任しても、安倍自公内閣の支持率が上昇しているという。絶望的になる。なるが私はあきらめない。コツコツと自分にできることをする。人々に訴える。チラシを撒く。街頭に立つ。(長内一・建交労)

健康のために 豆乳を飲んでいきます。普通の調整豆乳は味気なくて飲みづらいですが、バナナ味や黒ゴマ味などは飲みやすくりピートしています。(佐々木貴哉・全労連)
今シーズン 弘前近辺は雪が少なく、2ヶ月分くらい、もうけた「気分です(相馬貴之・健生労組)